

トリニダード・トバゴ月間情勢報告

(2022年1月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1. 概況

●新型コロナウイルス発生数は高止まりしており、収束の兆しは見えていない。1月末時点でのワクチン完全接種率は約49%。政府のワクチン政策に反対するデモ隊に対して警官が催涙ガスを使用、デモの先導者が起訴された。

●国営ガス会社とシェル社がマナティ・ガス田プロジェクト進行のため、処理施設の建設に関する合意書に署名。また、政府とアトランティックLNG株主3社（BP、シェル、国営ガス会社）は、同LNG社の再編に関する予備的合意に署名し、6月末までに再編合意を署名するための交渉に合意。ポートオブスペイン総合病院を建設中の都市開発公社は、上海建工からの申し出により、契約を終了する（工事は35%まで進捗）。

●当国においては年間4.82億から12億米ドルのテロまたは麻薬取引絡みの金融取引がされており、金融犯罪法の執行が課題。また、21年報告では不法金融取引の71%が税逃れ、22.6%が資金洗浄目的。

●カリビアンガス化学社（CGCL）が100万トンのメタノール輸出を達成。

2. 内政

（1）新型コロナウイルス

●（全般）1月の新型コロナウイルス発生数及び死者数はそれぞれ約19,300人及び約520人。1月末時点でのワクチン完全接種率は約49%。オミクロン株については、1月の発生数は44人で、これまでの総数は56人。

●（17日付報道）ローリー首相は、政府機関職員のワクチン接種状況を確認するための期限を1月中旬から2月中旬頃まで延長すること、コロナ患者の状況と医療水準を調査する委員会の設置等を発表。

●（18日付報道）16日、サバンナパークにおいて政府のワクチン政策に反対する300人規模のデモ隊に対して、警官が催涙ガスを使用。また、同デモを先導したウマル・アブダラーが起訴された。

●（27日付報道）汎米保健機構（PAHO）及びWHO寄贈による抗原検査キット1万5千回分がトバゴに到着した。

（2）その他の内政

●（14日付報道）前警察業務委員会が作成した警察長官の候補者リストは破棄され、新たに作成される。グリフィス前長官は、自分は立候補の有資格者である

が、ローリー首相に邪魔される可能性がある」と述べた。

●（１４日付報道）当国のベネズエラ難民の労働許可期限が２１年１２月３１日で終了しており、入国管理局から再登録の呼びかけも無かった。該当するベネズエラ人達は政府に対応を求めている。

●（２３日付報道）２４日、首相府は、２３日にオーガスティン・トバゴ島行政長官とローリー首相が非公式会談し、今後の定期的会談の実施及びトバゴの食料物価高対策等について協議したと発表。

●（２３日付報道）ジェイコブ警察長官代理は、警察が２７人の若いベネズエラ人女性を救出し、人身売買組織を摘発した、人身売買は数十億ドル規模のビジネスであり、窃盗団が関与していると述べた。

●（３０日付報道）警察の麻薬捜査で４人の不法滞在中国人が逮捕され、８００万ドル以上の違法薬物と大量の現金が押収された。警察は、今回の押収により当地で活動する人身売買組織にさらに踏み込むことができたと考えている。

３．経済

●（６日付報道）国営ガス会社とシェル社がマナティ・ガス田プロジェクト進行のため、処理施設の建設に関する合意書に署名した。

●（１６日付報道）米国のシンクタンクが発表したラテンアメリカ及びカリブにおける金融犯罪報告書によれば、当国においては年間４．８２億から１２億米ドルのテロまたは麻薬取引絡みの金融取引がされており、金融犯罪法の執行が課題である。

●（１８日付報道）金融情報局の２１年報告によると不法な金融取引のうち７１％が税逃れ、２２．６％が資金洗浄目的であった。

●（２５日付報道）国営ガス会社は、ガイアナのガス生産プロジェクトに１２社のうちのひとつとして応札する。

●（２５日付報道）ＢＰ社が西インド諸島大学、トリニダード・トバゴ大学と３４万ドル規模の二酸化炭素回収・貯留（ＣＳＳ）事業を実施予定

●（２６日付報道）政府とアトランティックＬＮＧ株主３社（ＢＰ、シェル、国営ガス会社）は、同ＬＮＧ社の再編に関する予備的合意に署名し、６月末までに再編合意を署名するための交渉に合意した。

●（２６日付報道）ヤング・エネルギー大臣は、ＢＰ、シェル、ライトハウス社による１１２ＭＷ規模の太陽光発電プロジェクトは２月末までに合意するだろうと述べた。

●（２６日付報道）ポートオブスペイン総合病院を建設中の都市開発公社は、昨

年11月に上海建工から、人件費、資材、運賃等の高騰に伴い契約辞退の申し出があり、議論を重ねたが契約を終了する、工事は35%が済んでおり、今後建設は継続すると発表（19年契約時11億TTドル）。

●（29日付報道）カリビアンガス化学社（CGCL）が100万トンのメタノール輸出を達成。

4. 外交

●（7日付政府発表）ブラウン外務大臣が、6～7日に開催された第22回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体会議（CELAC）に出席した他、アルゼンチン外務大臣と二国間会談を行った。

●25日、平山大使公邸にてエディ・デビッス・トリニダード・トバゴ剣道連盟会長への外務大臣表彰授与式が行われた。

●26日、平山大使はラ・ブレー港のCGCL社メタノール積込み現場を視察し、アラサCGCL社長及び青柳副社長とメタノールの生産及び船積み状況について意見交換を行った。平山大使は、同プラントが成功裏に生産を開始したこと及び次の輸出船で100万トンのメタノール輸出が達成される予定であることに改めて祝意を述べた。

●（28日付報道）カベンディッシュ当地EU大使は、現地紙インタビューで、当国がEUの非協力的な税制を持つ国のブラックリストとなっている問題に関する解決は合意達成に近づいていると表明。